



大阪市立文の里中学校図書室 /

2026

Newsletter

3 MAR



1年間、図書室をたくさん利用してくれて、本当にありがとうございました。年度末のため、本の貸出利用は2月末でしめきり、今は返却を急いでもらっている状況です。早く返してね。今月号は、司書の鳳桐さんからのメッセージを掲載します。



Monthly
Feature

学校司書 鳳桐さんからのメッセージ

令和7年度 文の里中学校図書室の貸出冊数がすごい！

文の里中学校図書室は、いつも貸出冊数が多く、日々人でいっぱいです。多い日の昼休みには、100人以上の人でにぎわっています。そんな大人気の図書室では、今年、なんと**4307冊**（ひとり平均**5.6冊**）の貸出がありました！

学年別にみると、**1年生**はひとり平均**7.6冊**、**2年生**は平均**5.1冊**、**3年生**は平均**4.0冊**の貸出でした。**大阪市全体の中学校の平均貸出冊数は2.8冊**なので、それを大きく上回っていることがわかりましたよ！すごい！

これも、本好きのみんなのおかげです！

そして、先生方のおかげで図書室が毎日開いていること、図書委員会のみんなが読書イベントなどの工夫を前向きに取り組んだ成果だと感じています。

大阪で一番大きい図書館である**大阪市立中央図書館**は、**各中学校の貸出目標冊数を決めています。それは、ひとり平均6冊**です。この目標はとても高く設定されています。でも、本校の1年生がこの高い目標を超えて平均で7.6冊の貸出冊数記録を打ち出したことは、たいへんうれしいことです。

日本で「本を読まない（読書離れ）」人が増えていることは、新聞記事やニュースで頻繁に、そして深刻に報じられています。

特に**2025年の調査**では、「1か月に1冊も本を読まない人が6割を超え」、過去最高を更新してしまいました（**文化庁調査** 朝日新聞より）。

このような現実の中で、文の里中学校の貸出数は大変誇らしい結果だと思います。こんな素敵な文の里中学校の図書室に関わることができて、本当にうれしいです。

学校司書 鳳桐